

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
選択科目	2 単位	メディアリテラシー	見城 美枝子	1 年次	春

授業のキーワード	情報 表現 分析評価
授業の概要	情報を握るものは世界を握るといわれます。テレビ、ラジオの放送媒体、新聞雑誌の活字媒体、インターネットのサイト等、異なるメディアを通して、同一のテーマやニュースを読み解くことで、情報分析力、比較力、評価力を修得します。
期待される学習成果（目標）	1.新聞ラジオテレビインターネット等の情報を読み解く基礎力が付く。 2.メディアを通し、社会への問題意識を養うことができる。 3.就職に必要な社会人としての情報整理と文章構成力を養うことができる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	メディア リテラシーについて	メディアの種類、メディアの現状等、基礎的な知識を学ぶ。	第 9 講	人権と報道 4	松本サリン事件、足利事件、大阪地検特捜部主任検事証拠改ざん事件等、犯罪報道における犯罪、冤罪について考える
第 2 講	ニュースについて	気になるニュースを挙げ、その理由を考える。ニュースの歴史的背景や表現方法から報道の理想と現実を学習する。	第 10 講	エイズをテーマに情報を分析評価する。	テレビのエイズ報道を読み解く。新聞記事の分析評価。
第 3 講	メディアの発信者 1	各メディアの情報発信のあり方を学ぶ。	第 11 講	エイズをテーマに情報を分析評価する。	ノンフィクションの分析評価。PRの表現方法や公共広告の情報発信の仕方の分析評価。
第 4 講	メディアの発信者 2	各メディアの情報発信のあり方を学ぶ。	第 12 講	エイズをテーマに情報を分析評価する。	ノンフィクションの分析評価。PRの表現方法や公共広告の情報発信の仕方の分析評価。
第 5 講	メディアの発信者 3	各メディアの情報発信のあり方を学ぶ。	第 13 講	話題作を取り上げる。	映画や書籍などから話題作を取り上げ、比較分析評価する。
第 6 講	人権と報道 1	新聞の紙面とテレビの画面、インターネット上の違いについて読み解く	第 14 講	話題作を取り上げる。	映画や書籍などから話題作を取り上げ、比較分析評価する。
第 7 講	人権と報道 2	記者、ディレクター、投稿者のそれぞれの目標、目的を読み解くことで、メディアの特徴を学ぶ	第 15 講	話題作を取り上げる。	映画や書籍などから話題作を取り上げ、比較分析評価する。
第 8 講	人権と報道 3	松本サリン事件、足利事件、大阪地検特捜部主任検事証拠改ざん事件等、犯罪報道における犯罪、冤罪について考える	定期試験		出題されたテーマに関して、各自の考えをレポートする。
評価方法		出席30%、授業の小レポート30%、レポート60%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
書籍等は随時知らせる			随時知らせる		